

住所：東京都港区北青山3-6-20青山T&Eビル3F
TEL：03-5467-1122
営業時間：平日11:00～22:00
定休日：不定休 アイリスト数：●名

客層：10代～70代女性
来店周期：3～5週間に1回
「アフロート」との業務提携により「アフロート」と
お互いにお客さまを紹介し合っている

立地条件に適したニーズの応え方で お客さまを獲得する



カウンセリングでは、メニューにあるまつ毛を目元に当てシミュレーションしている。お客さまに仕上がりのイメージをしてもらう



施術でのこだわりは、チタン性のツイザー。皮膚に直接当てることはないが、アレルギー反応を抑える

女性の働く場が増え 美容業界全体の発展に

6月からまつエク専門店をオープンした「アフロート」。専門店を出すまでに至った、まつエクメニューの導入方法とは。「ヘアとアイは同時施術が難しいので、青山という立地の場合サロン内に併設するより、外に専門店を作ったほうが効率よく客単価も上がるのではないかと思います。今回まつ毛専門サロンの「フォーラル」と業務提携という形で専門店をオープンしました。僕は、専門店を出店しましたが、地方ならヘアサロンで取り入れたほうが、客単価をアップできると思います。地方のヘアサロンがまつエクのスペースを導入したら、ビューティスポットとして、女性の美容の場になりながら、雇用の幅が広がると思います。やはりいちばんは、まつエクの需要が上がったことで女性美容師の可能性が広がったことではないかと思っています。今後トータルビューティとともに、アイリストの地位も確立されていけば、美容業界がさらに発展していくと思います」



宮村浩気

みやむらひろき。「アフロート」代表。'67年8月11日生まれ。長野県出身。山野美容専門学校卒業。

→ うちのこだわり

「エクステをたくさんつけて、目元を盛りたいという若いお客さまが多いですが、この要望に100%応えてはダメ。施術前のカウンセリングも大事ですが、施術後のアフターケアで、注意しなければならないことを細かく伝えられるかが重要です」(西崎さん)

→ うちのスタッフ教育法

「女性スタッフの中に、アイラッシュに興味のあるスタッフがいて、現在スクールに通って勉強している人もいます。ディプロマを取得したら、アイリストとして活躍してもらえたら嬉しいです」(宮村さん)「フォーラルでは一般向けにもスクールを開校しているので、そこで学ぶこともできます」(西崎さん)

【出店の心得】

「ちゃんとした商材と技術は当たり前です。目はデリケートゾーンだからトラブルになってしまうんです。事故を起こさないようにしていくことが、今後の業界としての課題ではありますが、怖がっていても何も始まりません。お客さまに自信を持って勧められるか、この判断力をオーナーやスタッフが持つことが大事です」(宮村さん)

ボリュームとカールを重視したデザイン。まつ毛が上がっていないと気分が落ち込むので、カールは私にとって最重要部分です。



アイリスト 西崎○○

にしざき○○。「アフロート アイ バイ フォーラル」アイリスト。'89年2月18日生まれ。徳島出身。○○学校卒業。アイリスト歴1年半。



「アフロート アイ バイ フォーラル」にあるスクールスペース。美容師や免許取得者が対象の一般向けの授業や「フォーラル」の入社研修が行われる



施術スペースはすべて個室で、4部屋設けられている。ほかのお客さまを気にすることなく施術を受けられる